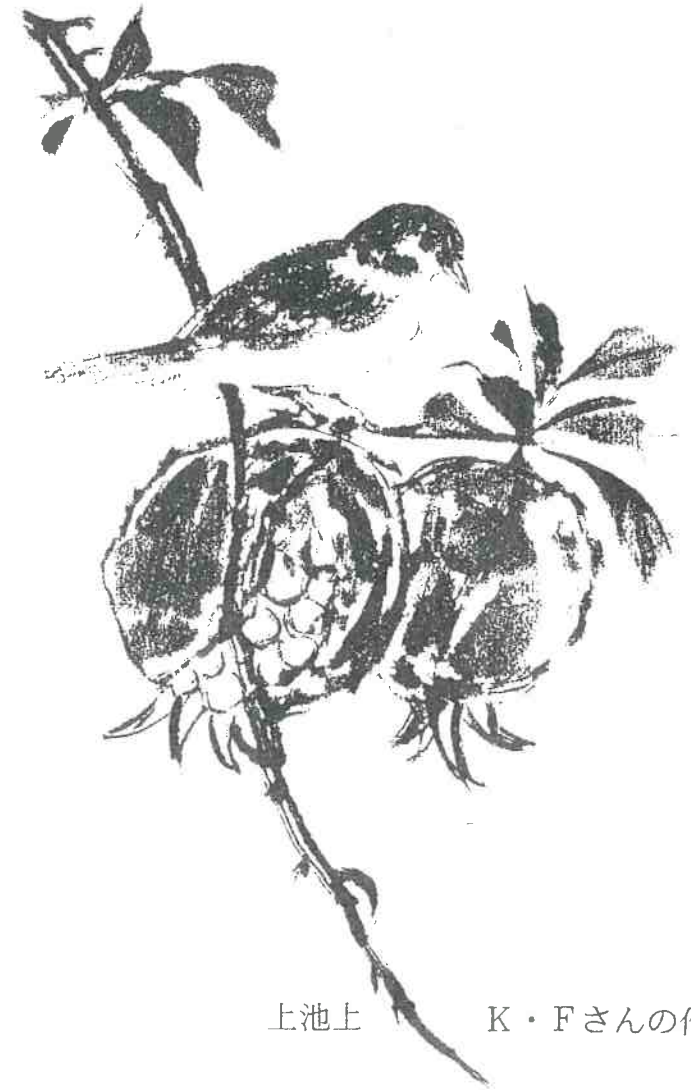


ふれあい 雪谷

平成10年

もみじ号



上池上 K・Fさんの作品

東雪谷東中自治会 紹介③ [“東中玫瑰会の事の心”]



◇玫瑰や海の彼方に夢のせし◇

東雪谷東中自治会玫瑰会は平成五年六月に発足しました。本会は会員相互の健康・親睦・趣味等の向上充実を目的としています。自治会会員の六十歳以上で組織し、その他の場合は趣旨賛同者に限ります。会員は100余名ほど。現在、第二、第四水曜日は東中書道教室を七時より九時迄。小学生から大正生れの人まで幅広く勉強を続行中です。また第一日曜日午後一時より、囲碁・将棋・麻雀教室を開いております。他町会の参加者も研鑽をかさねております。麻雀は女性雀士が和やかな雰囲気を楽しんでいます。

過去には、花創り・民謡踊り・お汁粉会・抹茶の会・写経般若心経・百人一首・紙粘土人形造り・スカーフ止作り・太極拳・クリスマスリースづくり・ハンガー創り・各種手芸・新年会・春の集い（雛祭）多摩川台公園徒歩観桜会などを行ってきました。今年は東中公園の観桜会を行い、改めて桜の好きな日本人を再認識致しました。

更に、七夕の集い・九月六日の盆踊り大会には、花笠50個を製作し踊りの練習に余念がありませんでした。熊谷恒子記念館や大田区郷土資料館にハイキング・料理講習会・毎年十一月に東中公園に於て、東中自治会のフリーマーケットの出店等々・東中玫瑰会は入会随時です。心より歓迎します。

(東中 菅野哲男)

編集後記

気温が高くても日差しのないまま夏が過ぎました。

各学校は二期に入り、紺碧の清々しい秋空のもとで、遠足・運動会と、色々家族ぐるみのイベントが行なわれることでしょう。

今回の『ふれあい雪谷』は新年号となります。次回の『ふれあい雪谷』は新年号となります。皆々様の原稿を宜しくお願い申し上げます。(池の台 大恵芳子)

※編集委員が変わりました。(笹丸自治会)

(旧) 直井禧久男 ご苦労さまでした。

(新) 小倉英靖 よろしくお願ひします。

【発行】わがまち大田雪谷地区推進委員会
【編集】ふれあい雪谷編集委員会

連絡先 雪谷特別出張所内
大田区東雪谷四一三一二三
電話 三七二九一五一七

【発行日】平成十年十月一日
通巻三十二号

サークル紹介 ①

池雪ジュニアストロング

地元の有志の方々で発足した少年野球チーム「池雪ジュニアストロング」も、はや二十数年の月日がたちました。

池雪小学校の行事開放として、在校生を対象に、休日には子供共々野球を楽しんでいきます。また団体行動の大切さや責任感の重要さを教えております。その間、東京大会で優勝し、全国大会で活躍したりと、大田区の強豪として地元に着したチームです。

チーム活動としては、学校の

街のお風呂やさん巡り ③



上池上商店街の中程(上池台三一四六九)にある「亀の湯」は、昭和二十九年の創業です。入口の外観とは打って変わり、内部は脱衣場、浴場共広々として天井も高く、お湯の量もたっぷりとあります。

浴場内の壁の大きなタイル絵は、ヨーロッパのリゾート地の雄大な美しい景色です。

風呂は泡・ゼット・超音波・遠赤外線の種類があります。また薬湯は日替わりで、紫根の湯・じゃこう・森林浴・アロエ・ラベンダー・カモミール・道後の旅、ほか数種類があります。

湯上りには、あんま機・ローラー・ウォーキングマシン等があり、またのんびりと軽い飲物で歓談されるのもよいものです。

営業時間は、午後三時十五分から十一時半までで、休日は、毎月第一金曜日です。

皆さん、内湯と違ってゆったりしているの、一人でも、ご家族でもどうぞおいで下さい。

(上池上 関 賢治)



(監督 川嶋 毅)



開設100周年にあたって



(東京都立荏原病院長 高木 偉)

都立荏原病院は、明治31年（1898）7月23日に世田谷村立の伝染病隔離病舎として開設されました。その後、平成6年10月には全面改築により五百床の病院として生まれ変わり、今年でちょうど開設100周年を迎えました。

今日の荏原病院は、脳血管疾患医療、難病医療、リハビリテーション医療、感染症医療等を重点医療とし、地域医療の中で急性期の高度・専門医療を提供する中核病院としての役割を担っております。

この役割を果たすため、当院では地域の診療所や病院との密接な連携、協力を推進する「医療連携」を運営理念の一つに掲げています。今日の医療環境では、一つの診療所や病院のみで患者さんを診断から治療が終了するまでの全てを診ることは難しくなっています。医療機関それぞれの役割分担が重要です。急性期医療を必要とする都民の方々をひとりでも多く、急病、急変等の危機から救うためにも連携は必要なのです。

当院では現在、周辺の大田、品川、目黒、世田谷区の8医師会及び7歯科医師会の会員約千五百名の開業医、及び23の病院との連携を図っています。患者さんは、これら医療機関からの紹介を原則としています。しかし、救急の場合や「かかりつけ医」を持たない方については、当院で診断し治療を行ない、病状が安定した時点でこれらの医療機関を紹介することになっています。

一方、医療機関との協力関係を密にするため、日頃から医師や看護婦などの交流を図るとともに、当院から他の病院などに紹介した後も、当院での検査や入院が必要となった場合はいつでも対応できるようにしています。

医療連携は、「患者さん中心の医療」を図るうえで欠かすことができないものです。今後とも皆様がたのご理解とご協力をお願いいたします。

さて、当院では、100周年を記念して講演会を計画しています。多くの皆様のご来場を心からお待ちしております。

平成10年11月7日（土）荏原病院1階ホール

13：30～バイオリン・ピアノコンサート

14：30～講演会 「21世紀は脳の世紀か？」

講師 東京大学名誉教授 北里大学教授 養老 孟司





配達サービス スタート

大田区内の商店が集合した大田区商店街連合会ではお買物に出掛けることが大変なお年寄りや障害者の方々は勿論の事、一般のお客様にも、気軽に、区内の商店を、ご利用いただく為に、6月1日より、配達サービスを開始致しました。

受注センターにご注文電話を下さるだけで、お近くのお店より、ご希望の商品をお届け致します。お届け時にお買物の代金をいただくだけで、手数料等は一切掛りません。疑問点などありましたら、ご遠慮なくおたずね下さい。

受付時間	午前9時～午後4時30分	
TEL・FAX	3729-9291	
申込先	石川台希望ヶ丘商店街振興組合	理事長 佐藤
配達品目	青果、鮮魚、食肉、茶、鮎、米穀、鶏肉	
	生花、家電、文具、燃料、水、煎餅、	
	写真集、飲食業、理容、表具、韓国料理	
配達地域	東雪谷1、2、3、4、5丁目	南雪谷1、2、3、4、5丁目

(希望ヶ丘 佐藤 義明)

※次回（『平成11年新年号』）は、上池上、小池、池の台自治会地域を対象にしている上池上商店街の配達サービスについて掲載する予定です。

“洗足池ラジオ体操会”

風光明媚なこの洗足池近くの桜山で、年中無休のラジオ体操会が発足してから昨年で満二十年になりました。会員数は百三十名～百四十名程です。毎朝、六時すぎ、三々五々集まった人達はそれぞれのお話に花を咲かせます。六時半になると、会員の皆様が元気にラジオ体操をはじめます。一度この会に入会した方は、ほとんどの方が長年続けて出席して下さいます。

会の行事としましては、お正月五日に池上本門寺へ徒歩で初詣でに出掛けます。朝食としておにぎり程度ですが、会の負担で召し上がって頂いております。また桜山に桜が満開の頃は、お花見で盛り上がります。一年に一度、日帰りバス旅行、新年会、定例総会と楽しくこなしております。

朝のすがすがしい環境の中で、どうぞ皆様御一緒にラジオ体操をやりましょう。

(洗足池ラジオ体操会 池の台 奥山 みき子)

＜訂正とお詫び＞

7月1日付『あさがお号』にて、下記の訂正があります。

①自治会紹介（婦人部の活動）の記事

7行目 無心に隅をすりおろすことで（誤）→無心に墨をすりおろすことで（正）

16行目 取り組んいでました。（誤）→取り組んでいました。（正）

②リレー随筆の記事

石川台 宮田良蔵〔執筆者〕（誤）→石川台 宮田良成（正）

4行目 昭和12年頃かけて（誤）→昭和12年頃にかけて（正）

訂正してお詫びいたします。



自治会リレー随筆

“懐かしの雪谷界限”

明治大正初期には下記のような7ズシ（小字）がありました。

- ①「日下山」〔ひげやま〕（現在の清明学園～雪谷大塚駅付近）
- ②「山谷」〔さんや〕（石川台や八幡神社の丘陵地帯）
- ③「原」〔はら〕（荏原病院の付近）
- ④「下ノ谷戸」〔しものやと〕（荏原病院の南付近）
- ⑤「市ヶ谷方」〔いちがやかた〕（円長寺付近）
- ⑥「並木」〔なみき〕（永久保稲荷）
- ⑦「石川」〔いしかわ〕

以上の7ズシの中に130軒の農家があり、7軒7苗を名乗る飯田、直井、永久保、宮田、遠藤、田中、国府方がそれぞれの地域に旧家として引継がれている。

現在の南雪谷5－10に当時は水神様が祭られており、馬込の十日森、大岡山の清水窪と並んで三大湧水として清水がこんこんと湧きでていた。これが呑川にそそぎ、谷中耕地の田圃では、この水のおかげで米が作られた。また、付近の農家は洗い場でとりたての野菜に利用していた。

水神様の敷地には、大人4～5人の手でも回せないほどのケヤキの大樹やカキツバタがあり、ホタルが飛び交う桃源郷であった様だ。毎年2月11日の水神祭りには、神主さんの祝詞と共にその水で炊いた「オコワ」（赤飯）が配られ、それを食べると風邪をひかないという言い伝えがあったといわれている。

昔の呑川は、川幅も狭く浅かったので大雨による水害も多かった。ゆったりとしたS字型のよどみには「うなぎ」が多く、特に冬も暖かい天然の湧水が流れ込む水神橋、谷中橋あたりにはクチボソ、鯉、スッポンをはじめ海の干満の潮の恩恵かシジミもとれた。この様な自然の多い皆に愛された川だった。

(南雪谷 三上 一)

俳句・短歌



草低く風にまぎれる秋の蝶	住み馴れし町角曲る萩の花	乙女等の髪弄ぶ野分かな	一聞に十を知りたる秋灯し	すしの薦	廃屋の崩れかけたる白壁を綴りて紅し幾
(東雪 宇新明歌子)	(東雪 宇新明歌子)	(東中 菅野哲男)	(東中 菅野哲男)	(笹丸 濱邊はつ子)	